

岐阜県セラミックス研究所  
〒507-0811 多治見市星ヶ台3-11  
Tel. 0572-22-5381 / Fax. 0572-25-1163

## セラミックス研究所の「平成 22 年度研究成果発表会」を開催します。

岐阜県セラミックス研究所では、地域産業活性化のため、陶磁器やファインセラミックスの研究開発に取り組んでいます。

当研究所では、平成 22 年度に実施した様々な研究成果を発表する場として、下記のとおり研究成果発表会を行います。陶磁器業界をはじめとして、より多くの皆様の業務や技術開発の一助となればと考えておりますので、ご参加いただければ幸いです。

日 時：平成 23 年 7 月 13 日(水) 13：30～16：15

場 所：岐阜県セラミックス研究所 講 堂 多治見市星ヶ台 3-11 TEL：0572-22-5381

発表内容 研究成果報告（13：35～15：05）

- |                                   |       |
|-----------------------------------|-------|
| ・湿式法による紫外線遮蔽材料の開発                 | 尾畑 成造 |
| ・陶磁器の軽量化及び軽量強化技術の開発               | 岩田 芳幸 |
| ・廃食器粉砕物を用いたリサイクル食器の開発             | 立石 賢司 |
| ・ナノ加工用機能性砥石の開発                    | 倉知 一正 |
| ・チタン酸アルミニウムを用いたアルミニウムダイキャスト用部材の開発 | 茨木 靖浩 |
| ・陶磁器インテリア製品のブランド化研究               | 小稲 彩人 |
| 事業報告・事業紹介（15：15～16：15）            |       |
| ・JIS2402 強化磁器食器の縁部衝撃試験方法について      | 林 亜希美 |
| ・マイクロ波ガス複合炉実証事業                   | 立石 賢司 |
| ・百周年記念事業の紹介                       |       |
| ・平成 23 年度新規研究開発事業の紹介              |       |

ポスター及び成果物展示

使い勝手の良い陶磁器製品の研究、ロボットによる陶磁器への絵付 他

参加者：企業、一般

参加費：無料

申込：当研究所のホームページ記載の申込方法に従い、FAXまたはメールでお申込ください。

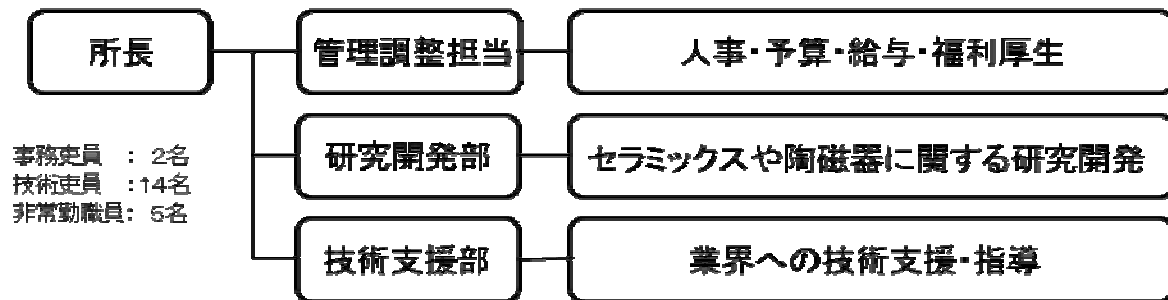
問合先：岐阜県セラミックス研究所 担当：加藤弘二、横山貴広

Tel.0572-22-5381 fax.0572-25-1163 E-mail: [kato-koji@pref.gifu.lg.jp](mailto:kato-koji@pref.gifu.lg.jp)

## 平成 23 年度事業概要

岐阜県セラミックス研究所は、ぎふ科学技術振興プランに基づき、県民生活の向上に貢献する化学技術の振興を目指して、セラミックス技術により産業振興・地域振興を推進します。

### 組織



### 平成 23 年度研究開発課題（ は外部資金による課題， は重点研究課題）

#### ナノ加工用機能性砥石の開発

加工に必要な部分のみの砥石を作製することで、環境に配慮した砥石作製方法を提案します。

#### チタン酸アルミニウムを用いたアルミニウムダイキャスト用部材の開発

鋳造用部材の長寿命且つ低コスト化を目指し開発を行っています。

#### 機能性複合粒子の湿式合成と実用化研究

微粒子に機能性を持った素材をコーティングすることにより、新しい利用法を開拓します。

#### 短時間・低温焼成による環境負荷低減型陶磁器の開発

マイクロ波の特徴を活かした陶磁器製品の開発を目指して、焼成技術を検討しています。

#### 陶磁器インテリア製品のブランド化研究

美濃焼の特徴を活かしたインテリア製品を開発し、美濃焼の新分野を創出します。

#### 人に優しい陶磁器製品の開発とその評価技術

破損時に割れ片が散乱しない安全で使い易い陶磁器製品を開発し、製品化します。

#### 陶磁器製造プロセスの短縮化に関する研究

飲食器製造プロセスにおける素焼き・施釉工程の短縮化を検討しています。

#### 低熱膨張材料の高機能化とその製品化

ペタライトの代替としてコーディエライトを使用した低熱膨張材料の開発と高機能化を検討しています。

#### 機能性に優れた陶磁器質タイルの開発

ユーザー志向にあった機能性に優れたタイルの技術開発を検討しています。

#### セラミックスダイスによるプレス加工技術の開発

セラミックスダイスによる無潤滑での厚板鍛造技術の開発と事業化を目指します。

#### 多品種・少量生産対応型ダイカスト鋳造システムの開発

必要な量のアルミを必要な時に短時間で熔解する小型炉システムを開発します。